



平成 17 年 11 月 14 日

各 位

会社名 駒井鉄工株式会社
 代表者名 取締役社長 笠畑 恭之
 (コード番号 5915 東証・大証第1部)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 海老澤 正博
 (TEL. 03-3833-5101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 6 月 20 日に公表した平成 18 年 3 月期の中間期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)および通期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想をそれぞれ下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期 個別中間業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)
 (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	10,800	△400	△5,000
今回修正予想(B)	10,311	△828	△5,248
増減額(B-A)	△489	△428	△248
増減率(%)	△4.5	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期中間)	11,957	△794	△527

2. 平成 18 年 3 月期 連結中間業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)
 (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	12,000	△500	△5,100
今回修正予想(B)	12,768	△907	△5,340
増減額(B-A)	768	△407	△240
増減率(%)	6.4	—	—
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期中間)	13,116	△896	△505

3. 平成 18 年 3 月期 個別通期業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)
 (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	32,600	360	△4,500
今回修正予想(B)	39,000	460	△4,500
増減額(B-A)	6,400	100	0
増減率(%)	19.6	27.8	—
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	28,151	△640	△462

4. 平成 18 年 3 月期 連結通期業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）
 （単位：百万円、％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	35,200	310	△4,500
今 回 修 正 予 想 (B)	43,900	410	△4,580
増 減 額 (B-A)	8,700	100	△80
増 減 率 (%)	24.7	32.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 3 月期)	30,159	△922	△629

5. 修正の理由

(1) 個別中間業績

売上高につきましては、一部中間期末完成予定工事の工期延伸に伴い減少いたします。それに伴う工事利益の減少に加え、一部大型橋梁工事の現場原価等のコストが増大することにより経常利益及び中間純利益は公表数字を下回る見込となりました。

(2) 連結中間業績

個別の売上高減少がありましたが、一部連結子会社の売上高が増加することに伴い売上高は増加する見込であります。経常利益及び中間純利益につきましては個別業績予想の修正に伴い、連結業績予想の修正を行うものであります。

(3) 個別通期業績

売上高につきましては、大型鉄骨工事の完成が大幅に増加することにより増加する見込であります。経常利益につきましては、売上高の増加に加え、鉄骨工事の採算が回復することにより改善する見込であります。

(4) 連結通期業績

個別通期業績予想修正に伴い、かつ、一部連結子会社の売上高が増加することを反映して修正するものであります。

なお、公正取引委員会の排除勧告を応諾したことにより発生する課徴金等につきましては、現時点では金額を合理的に見積もることが困難であるため、今回の業績予想には織り込んでおりません。

以 上

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。